

## 私の地震体験談

広瀬化学薬品株式会社

中野政宏

まず始めにこの度の阪神大震災に際して多くの方々が亡くなられ、心から御冥福をお祈り申し上げますとともに、住居を無くされた方々にお見舞い申し上げます。

私の住まいは西宮市ですが、ほとんど宝塚市と言ってよいほどの生瀬東町です。

地震のあった当日は朝5時に起きて犬の散歩に行き、帰ってから1階の廊下にいますと床が突然盛り上がり一瞬体が浮いた感じがして、私は思わずその場にしゃがみ込んで「なんだこれは？」と叫んでいました。その後、横に揺れたので地震とわかりました。

揺れている最中、台所にいた家内に「地震や大丈夫か？」と声をかけますと、家内はいち早くガス台の火を切って娘の名を叫びながら2階に駆け上がって行きました。家内が2階にいきますと、寝ている娘の上に本箱が倒れかかっていたので一瞬死んだのではないかと思い、必死で娘を揺り起こしますと、寝ボケた声で返事があったのでヤレヤレと思ったそうです。地震がおさまると、被害状況はと思い外に出て見ましたが、その時点では外はまだ暗くてよく解らず、また御近所の方もどなたも外に出ていられないので、たいしたことはないのかと思いました。電気がつかないので懐中電灯を捜しましたが、家の内がゴチャゴチャでどこにあるのやら解らず、明るくなるのを待ちました。

明るくなってみますと内壁が2ヵ所ほど崩れ落ち、外は瓦が真ん中部分がほとんどずれており外壁が1ヵ所崩れ落ちていました（後日、西宮市の判定は家の前面右側の基礎が少しずれているということで半壊でした。）。それから、倒れたタンスやミズヤ、本箱等を起こして割れた食器、ガラス等を片づけ一応落ちついてくると会社のことが心配になりました。危険物の容器が割れて火がついて燃えていないだろうか、又劇物の容器が割れてガスが流れ出して回りの住民に迷惑をかけていないだろうかと思い、後片づけを家内と娘に任せて午前9時頃車で家を出ました。車だとラジオで情報が聞けると思ったのです。176号線を南に下がり小浜の交差点を西に少し行った小林あたりで大渋滞していたので、これは駄目だと家に帰りバイクに乗り換えて出直しますと、大渋滞の原因は仁川の競馬場の前の道路が割れているためでした。そして西に行くほど地震の物凄さが解りました。甲東園あたりで家が道路に崩れかかって道路の片側を塞いでいたり、新幹線の高架が落ちていたり、171号線に出ると門戸の陸橋が落ちていたり、43号線に出ると阪神高速道路が北側に倒れていました。

割れた道路や倒れた家を避けながら迂回を続け、昼食もとらずに午後2時頃、やっと会社に着きました。会社はポートアイランド内にありますが橋は通行止めになっており、人、自転車、バイクのみの通行が出来るということで、私が橋を渡るときは誰もいなくて不気味な感じがしました。

橋を渡ると、あたりは泥だらけなので、最初は液状化現象と言う事が解らず、地震で海水が上がったのかと思いました。会社のガレージも泥の海でしたが、事務所、倉庫の建物及び危険物屋内貯蔵所はどうもなっておらず整然と建っていました。

ポートアイランドの島全体が沈んで北隣の船用品センターの建物が隆起したのに対して、我社はフローティング工法のお蔭で道路などと一緒に沈んだため、建物は前のままの状況でした。気になっていた危険物施設に入ってみますと、建物内に泥が入っていましたが棚は転倒しておらず、落下した薬品が数本割れていましたが異臭などしていませんでした。これは以前、消防署の指導により転倒防止策、落下防止策を施しなさいとの事で棚同士の固定、棚板の前に網を張るなどしていたため、薬品が棚上で数本倒れていたものの落下はしませんでした。ただ一斗缶などはほとんど倒れていました。それらを措置してから普通物の倉庫に入ってみますと、こちらも同様に建物内に泥が入っていて棚の転倒もしていませんでしたが危険物施設のような措置をしていなかったため、薬品の棚からの落下がかなりありました。ただ最近では危険物の溶剤とは異なり普通物、劇物等はポリ容器が多いため、割れたのは少なくほとんどは泥のため商品が駄目になりました。ただ泥のお蔭だと思いますが割れた薬品の匂い、又ガス発生などがなく「不幸中の幸いと思わなければいけない」と思いました。

建物及びキュービクル、空調設備、消火設備等は異常ありませんでしたが倉庫のエレベーターが泥により駄目になり、汚水の配管が逆勾配になっていました。それに泥を除けて後日に解ったのですが、ガレージの割れ、陥没及び隆起回りの側溝の破壊、逆勾配、会所の破壊と外回りにはかなり被害がありました。でも当初予想していた危険物商品の破損、それによる悪臭及び火災の発生などはなく被害が最小限だったのは何よりでした。世の中何が起こるか解らないので、これからもいろんなことを想定して予防措置を講じていきたいと思えます。

被害が少なかった屋内貯蔵所（右）と一般倉庫（左）

